

コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像 『自信をもち自分の力を発揮する子』 ～

夏休みの小学生に岳洋中学生が宿題を教える学習支援【学びの庭】

小学生は、算数や国語のドリルなど夏休みの宿題を持ち寄って問題に取り組み、分からないところがあるとボランティアの中学生に解き方を教わりました。参加した小学生は、「中学生のお兄さん



やお姉さんが、計算の仕方をやさしく教えてくれたのでうれしかった。」「夏休みの宿題がとてもはかどった。みんなでやると楽しかった。」と。ボランティアで参加した中学3年生は、「自分も小学生の時に参加したので、今度は教えたいと思って参加した。分かりやすく教えるのは思ったより難しく、先生の苦労がわかった。」と話していました。

岳洋学舎ではこの夏、2つの団体が小学生の学習を支援する活動を開催しました。7月25日(木)、ひらかわ会館では青少年健全育成市民会議平川支部の皆さん



による「夏休みみんなで宿題をやる会」がありました。この会には、小笠北小学校の子どもが37人、それをサポートする中学生13人参加しました。

また8月3日(土)、中央公民館では、地元の社会教育委員の皆さんによって「夏休みみんな集まれ勉強の会」が開催されました。学舎内の3小学校から15人、それをサポートする中学生7人が参加しました。勉強だけでなく休み時間は、世代をこえて楽しそうに会話する姿が見られました。ボランティアとして参加した中学生は、「地域の方や後輩のために力になりたい。」と、地域の一員としての意識を高め、自分の行動が地域に貢献しているという自己肯定感を高める機会になりました。夏休みの学習の場づくりを通して、地域の大人と中学生、小学生とが交流し、地域の絆を深めるすてきな時間になりました。

岳洋中学生による地域清掃【学びの庭】

8月4日(日)、市内の中学生約1200人が自分の住む地域の清掃活動に取り組みました。これは市が進める中学生主体の地域をよりよくする活動「まちづくり3大プロジェクト」の一環で、今回は第2弾となる「環境美化プロジェクト」が行われました。自治区ごとに分かれ、区長様と事前に決めた活動に取り組みました。猛暑の中でしたが、どの中学生も張り切って最後までやり遂げました。地域の皆さんと一緒に汗を流し会話する中で、生徒は「自分が地域の一員であることを実感できた。」と語っていました。次回は、第3弾として12月に「防災プロジェクト」が実施される予定です。ご支援をよろしくお願いいたします。

(文 学舎ディレクター 大石英)

